

## 1. 基本的な事項

### ○空港の特徴

・東京国際空港は東京都大田区の東京湾臨海部に立地し、空港周辺は東京湾及び多摩川流域に面している。

・滑走路4本と旅客ターミナルビル3棟等の多くの施設があり、乗降客は8,222万人、航空貨物119万ト、着陸回数225,697回(2019年度)を取り扱っている。

### ○空港脱炭素化に向けた方針

・ターミナルビル、庁舎等において、高効率空調への更新、照明、灯火のLED化等の省エネのほか、再生可能エネルギーの導入などに取り組む

## 2. 温室効果ガスの排出量

区分	温室効果ガス排出量[t/年]		
	2013年	現状(2019年)	
空港施設	210.7千	194.6千	
空港車両	17.4千	21.0千	
廃棄物の焼却	7.1千	9.2千	
空港施設・車両・廃棄物焼却 計	235.2千	225.0千	
(参考)	航空機	408.0千	452.2千
	空港アクセス	118.1千	149.8千

## 3. 温室効果ガスの削減目標

2030年度目標	2013年度比 46.0%削減
2050年度目標	カーボンニュートラル

## 4. 主な取組

- ・2030年度：
  - ・空港建築施設等の新築等におけるZEB推進検討
  - ・空港の施設の空調設備等の高効率化、照明、灯火のLED化等省エネや空港内への再エネ導入に取り組むとともに、オフサイトPPAや水素を活用した高効率ガスコージェネレーションの導入を図る。
- ・2050年度：
  - ・太陽光発電設備の拡充及び蓄電池の導入等を検討。



取組の内容及び実施箇所

### その他の取組

- ・地域連携・レジリエンス : 余剰電力を活用した周辺地域の公共施設への再エネ電力の供給や、災害時の電力供給を検討
- ・意識醸成・啓発活動等 : HPへの環境の取組みの公表やメディア等を活用して公共交通利用の促進を実施